

振興センターだより

かちがらす

令和7年6月

64号

ピーマンチャレンジファーム研修生
就農開始!!



JAさがと生産部会、行政で構成する脊振・三瀬園芸振興協議会（協議会）は、3月25日に令和6年度ピーマンチャレンジファーム（CF）の修了式を開催しました。CFでは、幅広い年齢の方を対象に、1年間の研修を通して円滑な就農に向けて支援し、新規生産者の創出・育成による産地活性化に取り組んでいます。

令和6年度は、2期生の栗原さんがCFを修了されました。トレーナーの指導や関係機関と連携した実践的な研修により、栗原さんは栽培面および経営分析の手法を習得されました。修了式で栗原さんは「1年間学んだことを活かし、トレーナーを超えられるような生産者になりたい」と笑顔で話されました。

現在、栗原さんは営農を開始し、ピーマンの栽培に熱心に取り組まれており、今後の産地の担い手として期待されています。振興センターでは、引き続き関係機関と連携し、支援を実施していきます。

協議会では、今年度もCF研修生を募集しています。また、就農フェアへの出展や就農セミナーの実施を計画しておりますので、ご家族やお知り合いの方で興味のある方に、ぜひご紹介ください。

【お問い合わせ先】

脊振・三瀬園芸振興協議会事務局

（JAさが三神エリア神埼

営農経済センター北部営業所）

TEL: 0952(59)2224



JAホームページ



佐賀中部農林事務所佐城農業振興センター
普及課 Tel 0952-45-8888

農業企画課 Tel 0952-45-8881 FAX 0952-45-8880 佐賀県佐賀市川副町南里 1088

北部普及課 Tel 0952-56-2311 FAX 0952-56-2846 佐賀県佐賀市三瀬村三瀬 2959-1

令和7年度普及活動 方針について

佐城農業振興センターに着任しました江口です。新年度を迎え当センターの活動方針をお伝えいたします。農業・農村をめぐる情勢は、ご承知のとおり、農業担い手の減少、生産資材等の高騰、気候変動による農作物の収量・品質の低下、更には物価の上昇により、農業経営・農家生活は厳しさを増しております。

この情勢の中で、当センターでは「農家所得の向上」「農業・農村の持続的発展」を目指し、販売額1億円を目指すトップレベルの担い手育成や施設園芸の団地化及び新規就農者の確保システムづくり、露地野菜導入による土地利用型農業の強化、中山間地域営農システムの構築、更には農福連携の推進などに重点を置いて活動を展開します。

今後、農業士を始め農家の皆さんや市、JAなどの関係機関・団体等と連携しながら活動の成果を上げていきたいと考えています。皆様方のご協力をお願いします。



トピックス

第57回 佐賀県花き園芸共進会

農林水産大臣賞受賞

令和7年1月に行われた「第57回佐賀県花き園芸共進会」において、山口智宏氏（佐賀市東与賀町）のカーネーション「タイソン」が、栄誉ある農林水産大臣賞を受賞されました。

山口氏は平成22年に就農し、現在は両親、妻とともに50aのハウスでカーネーションを栽培されています。就農後は、両親が築いてきた経営を引き継ぎつつ、さらなる発展を目指してマーケットインの考えを重視し、市場の担当者や花屋のニーズを把握し、求められるカーネーションを栽培することに力を入れてこられました。その一環として、スプレー主体だった品種構成に、需要が高いつランダムを取り入れるなど、新たな取り組みに積極的にチャレンジされています。



省力化で面積拡大！ タマネギ省力化セミナー開催

昨年は佐城管内を対象として実施した「タマネギ省力化セミナー」を今年は県内生産者及び就農予定者も対象として、3月5日に実施しました。県内生産者やJA、行政関係者など52名が参加し、盛況となりました。

本セミナーは、機械導入により農作業の軽労化・省力化を図り、経営体当たりの生産規模拡大、管内の栽培面積拡大につながることを目的に開催しました。鉄製大型コンテナを使った収穫による時間短縮の調査結果や補助事業に関する研修後、メーカーによる機械説明、実演を行うことで、参加者からは「メーカーからの説明を聞き、導入に向けたイメージができた」となどの声が上がりました。

今後の関係機関や連携の場として、セミナー後、農家園場での実演や、規模拡大に向けた相談が寄せられています。



エコーによる牛の 妊娠鑑定研修会開催

3月に管内の若手牛繁殖農家を集め、超音波診断装置（エコー）を用いた妊娠鑑定方法の研修会を行いました。妊娠鑑定の遅れは、分娩間隔を長期化させ、経営悪化を招きます。エコー診断は、早期に有効な鑑定を行うために試験場から講師を招き、エコー診断の演習を行い、実際に診断を実施した参加者からは「妊娠が確認できた」との報告が聞かれます。



● 新規課題の紹介 ●

「いちごさん」の作型分散と環境 および生育の「見える化」による 収量向上支援

近年、「いちごさん」では夏季の高温により花芽分化が遅れ、年内収量の減少がみられます。そのため、花芽分化の促進や収量の向上が課題となっています。そこで本課題では、低温処理等による花芽分化の促進や環境・生育データの活用による栽培技術の向上を目指します。



佐賀北部園芸産地の担い手確保・育成対策

佐賀市北部地域(富士町・三瀬村)では、ホウレンソウトレーニングファームやピーマンチャレンジファームでの研修体制を中心に、研修生や新規就農者の確保に向け、関係機関と連携を強化していきます。また、新規就農者の稼げる農業の実現のため、経営および技術的な課題を解決しながら、支援を行っています。



技術支援強化によるアスパラガス 産地振興

アスパラガスは管内の主力品目であり、新規者の参入も多い中、10a当たり収量が減少傾向にあります。本課題では、新規者を始めとした若手生産者の早期技術習得支援と高収量生産モデルの実証・普及による意欲的な農家のステップアップを行い、産地の維持及び活性化を目指します。



水稻大規模経営体の省力化及び 経営発展

水稻大規模経営体では、省力化や作期分散及び収量・品質の向上を図るため「乾田直播」と水稻新品種「ひなたまる」への関心が高まっています。そこで、安定多収技術を確立し高収益の経営体を育成するとともに、地域への波及により地域農業の発展に取り組んでいきます。



中山間地における水稻新品種生産 を核とした農地管理の省力化

中山間地域では、標高や地域に応じた稲作が盛んです。しかし、倒伏や病害虫被害、高温障害が近年問題となっています。そこで、水稻新品種の導入による収量・品質の安定化を目指した、取組みを行います。新品種の栽培マニュアルの作成や畦畔管理の省力化、鳥獣害対策を組み合わせて、支援を行っています。



子牛価格低迷に負けない！ 繁殖技術向上による 佐賀牛素牛産地の牛群づくり

資材価格高騰などを背景に子牛価格が低迷し、繁殖牛農家の経営を圧迫しています。そこで、繁殖管理技術を向上させ、長期不受胎牛を減らすことで子牛生産性の高い牛群作りを推進していきます。今後は、繁殖牛の栄養改善・観察徹底・早期治療などをテーマに活動に取り組んでいきます。

令和7年度佐城農業振興センター職員紹介

令和7年4月1日現在

◇ 普 及 課 ◇



徳永普及課長

●土地利用型作物・畜産担当



【土地利用型作物】
百武係長



丹下



吉田



【畜産】
亀川



【土地利用型作物】
本村



福島副センター長

●野菜・花き担当



【野菜・花き】
富永係長



【野菜・花き】
前島



【野菜・花き】
月足



【野菜・花き】
江代



【野菜・花き】
原田



【野菜・花き】
田中



【野菜・花き】
岡



江口センター長

●経営担当 ●果樹担当



【経営】
梅下係長



【経営】
武政



【経営】
伊藤



【果樹】
前山係長



【果樹】
青木



【果樹】
澤山



【野菜・花き】
福川

◇ 農業企画課 ◇



谷口課長



岩石係長



猿渡



松石係長



田村



児玉

◇ 北部普及課 ◇



片淵北部普及課長



【野菜・花き】
浦田係長



【野菜・花き】
江頭



【土地利用型作物】
河野



【野菜・花き】
迎

農業大学校学生募集!

佐賀県農業大学校では令和8年度入学生を募集しています。また、農大を紹介する「オープンキャンパス」は、7月6日(日)と8月23日(土)に開催します。ご家族やお知り合いの方で興味がある方は、直接、農業大学校にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

佐賀県農業大学校養成部入試担当
電話 0952(45)2144

農業大学校ホームページ、農業大学校
Youtubeチャンネルもご覧ください。



農業大学校
YouTubeチャンネル



農業大学校
ホームページ

空きハウスや加温機、トラクター等の

情報提供をお願いします!

あなたのハウス等を未来につなげていきませんか?!

資材の高騰によって園芸ハウスの新たな整備や初期投資にかかる費用が増大し、新規就農者等の大きな負担となっています。使用しなくなった空きハウスやトラクター、加温機等を「売りたい」、「貸したい」という希望のある方は、ぜひ振興センターへ情報提供をお願いします。

